

部活動などの活躍

【実用英語技能検定】

準2級	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
3級	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
4級	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
5級	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇



ナンちゃん・ニーくん

英検合格!
おめでとう!!

南千住マイスターのコーナー

回向院というお寺一つでも、これだけ多くの歴史のないわけがあるのです。南千住の地は、まさに歴史の出来事の宝庫。これからこのコーナーでは、まだまだたくさん史跡・文化財を紹介していきます。おたのしみに...

南千住二中の敷地には火力発電所があったことは前号(27年度3月号)で紹介しました。このように南千住には、荒川区内でも特に多くの史跡・文化財があります。南千住二中が地域学習に取り組む原点でもあります。今年度はそれらの史跡・文化財に焦点を当てて紹介します。

まず紹介するのは、「小塚原回向院」です。回向院と言えば、社会科の教科書でも紹介され、日本中の多くの人が知る「解体新書」の舞台となった場所です。医学、そして人体の研究をしていた杉田玄白をはじめとする蘭学者は、当時から許可されなかった人体解剖(腑分け)をこころ回向院で行いました。南千住は小塚原と呼ばれ、江戸時代まで処刑場がありました。処刑された罪人の腑分けが行われたのです。彼らは「ターヘルアナトミア」という蘭学書の人体解剖図の正確さに驚かされます。そしてその蘭学書を大変な苦労のもとで翻訳し、世に出したのです。日本の西洋医学の発展は、この地からスタートしたのです。

また、刑場があった関係で、多くの著名人の墓があります。安政の大獄で刑死した「吉田松陰」や「橋本左内」、桜田門外の変で処刑された水戸浪士の墓、さらに有名な大泥棒「鼠小僧次郎吉」や「腕の喜三郎」などの罪人の墓もあります。どの名も歴史によく知られた名前です。

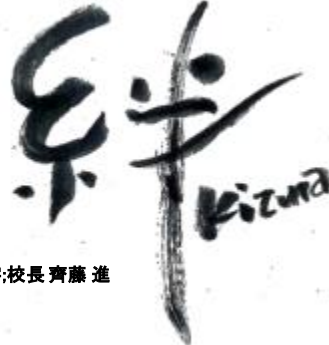
さらには、1963(昭和38)年に起きた世の中を震撼させた身代金目的幼児誘拐事件、いわゆる「吉展ちゃん事件」の被害者を弔う「吉展地蔵尊」もこころ回向院にあります。当時はこの事件に関連して、南千住の地が連日テレビで放映されていました。

回向院というお寺一つでも、これだけ多くの歴史のないわけがあるのです。南千住の地は、まさに歴史の出来事の宝庫。これからこのコーナーでは、まだまだたくさん史跡・文化財を紹介していきます。おたのしみに...



歴史的人物の墓が並ぶ

南千住の史跡・文化財 第1回 『小塚原回向院』



題字:校長 齊藤 進



学校だより
平成28年4月
第62号
荒川区立南千住第二中学校

原石を磨きダイヤモンドへ

校長 齊藤 進

新入生の皆さん入学おめでとうございます。

143名の新入生はいろいろな個性をもっているダイヤモンドの原石です。その個性を磨き美しく輝くダイヤモンドにしてください。そのためにはどうしたらよいか。

それは、新入生全員が「**大きな子供ではない、小さな大人である**」という自覚をもつことです。小さな大人とは、わがままな人ではありません。自分のことしか考えない人ではありません。相手をバカにしたりする人ではありません。いじめを見て見ぬふりをする人でもありません。小さな大人とは相手の気持ちを理解する人であり、困っていたら助けてあげることができる人です。

本校の教育目標は、たくましい人です。たくましい人とは、大きな子供ではなく、小さな大人です。たくましい人は、気づき、考え、実行できる人です。「**気づき、考え、実行する**」は青少年赤十字(JRC)の態度目標です。電車に乗っていたらお年寄りや体の不自由な方に気づき、席を譲る。廊下にゴミが落ちていることに気づき、拾う。皆さんの先輩には、学校に来られ職員室や校長室がどこか戸惑っているお客様に気づき、案内する生徒がいます。

大きな子供ではない、小さな大人であるという自覚と気づき、考え、実行することを心がけて南千住二中での生活を送ることができれば必ず皆さんはダイヤモンドになることができます。がんばってください。

南千住第二中学校は、授業や部活動、学校行事、様々なボランティア活動に一生懸命に取り組む学校です。特色ある教育活動も盛んです。とくにレスキュー部は東京都だけではなく全国からも高く評価され注目されています。また、南千住検定で知られる地域学習では、玄関にある緋鯉や大亀、大蛇の神輿を生徒たちが楽しみながら製作しました。さらに3年生が1年生にタブレットパソコンを使って地域の歴史などを説明する試みも始めました。

新入生の皆さんは、これまで勉強や友達、先輩、先生のことなどたくさんの不安があったことと思います。しかし、心配は必要ありません。本校は生徒のあいさつや礼儀正しさ、何事にも一生懸命に取り組む姿勢、落ち着いた校風など、すばらしい学校として荒川区の中で高く評価されています。2年生3年生は皆立派で、校長先生自慢の生徒ばかりです。先生方教職員も生徒思いで頼もしくやはり校長先生の自慢です。どうぞ、そうした先輩や先生方の胸に飛び込んできてください。そして何より南千住第二中学校の生徒としての誇りをもってください。校歌にある、**絆はかたく温かい**学校を皆さんとともに築いていきましょう。

始業式・第28回入学式

平成28年度の始業式が4月6日(水)に行われました。朝、新クラスが発表されると、同じクラスの友だちを見つけては手を取り合い、喜び合う生徒の輪がいくつもできました。新しいメンバーで気持ちも新たにスタートした2年生、3年生。これからの1年でさらに‘たくましく’成長していくことでしょう。



クラス発表に喜ぶ2年生

始業式では、転出された先生・主事さんにつづき、新たに南千住二中に来られた教職員が紹介されました。さらに担任・副担任の発表があり、期待に包まれた歓声が上がりました。その後、校長先生から南千住二中をさらに発展させようとお話があり、2,3年生の真っ直ぐに向けられた視線が印象的でした。

始業式翌日の4月7日(木)には南千住二中第28回入学式が行われました。今年度の新入生は、男子80名、女子63名、計143名で5クラスのスタートとなりました。南千住二中としては昨年の記録をさらに上回る開校以来初めての5組の誕生です。

式は大変厳粛に行われました。新入生入場では、コースを間違っハプニングもありましたが、すぐに気付き、声を掛け合い元のコースに戻って列を整え、大変立派に入場できました。会場からは笑顔と一層大きな拍手があふれ、緊張気味な雰囲気も和やかなものとなりました。ひとりひとりの名前が担任の先生から読み上げられる呼名では、会場に「はい」と応える元気な声が響き、南千住二中での新しい生活に対する希望が満ちあふれていました。式での起立や黙礼も初めてでしたが、朝の短い学活での練習だけでしっかりできました。校長先生の式辞の中では南千住二中が全校加盟しているJRC行動目標である「気づき、考え、実行する」を新入生全員で唱和しました。

また、生徒会長が「**‘小さな大人’**を目指して、ともに助け合い、学びあい成長していきましょう。」と歓迎のことばを述べ、新入生代表の〇〇〇〇くんが「それぞれの希望や目標に向かって、一生懸命努力をしていきます。よろしく願います。」と誓いのことばを述べました。

新入生も2,3年生も大変立派な態度でした。また、式の終わりには、指揮〇〇くん、伴奏〇〇さんによる、2,3年生の校歌(校歌紹介)がアリーナ(体育館)に響き渡り、来賓の方々からお褒めのことばをいただきました。

全校生徒358名。仲良く楽しく、そして前向きな学校生活を送り、より良い学校をつくっていきましょう。

第27回卒業式

前年度、3月18日(金)は、南千住二中第27回卒業式でした。卒業式は中学校の儀式的行事の中でも3年間の集大成ともなる最も重要な行事です。卒業生も在校生も最高の卒業式にしようと練習に取り組んできました。

その練習の成果もあり、当日は整然とした中で、厳粛で感動的な式を行うことができました。卒業証書を受け取る姿は誇らしげで、凛々しくもありました。ご来賓の方々からのご祝辞や記念品を贈呈(卒業生代表〇〇さん)される時の態度も立派でした。

卒業生代表・前生徒会長の別れのことばは、「この3年間で、友人、後輩、先生方からいただいた大切な宝物を胸に、強く優しく生きていく」という感謝と多くの思い出に綴られ、卒業生の目に涙があふれました。

また、最後には、保護者に向けた「本当に有難う」の言葉に、壇上に立つ校長先生も席で見守る保護者も涙をこらえきれませんでした。担任の先生方の目にも光るものが溢れました。

全校生徒による式歌「旅立ちの日に」(指揮;〇〇さん、伴奏;〇〇さん)、卒業生の「仰げば尊し」(指揮;〇〇さん、伴奏;〇〇さん)で式は最高潮を迎えました。

そして最後に、全校生徒全員による圧巻の校歌で卒業生を送り出しました。

平成27年度の卒業生は、男子37名、女子58名、計95名で、南千住二中の卒業生累計は2,446名となりました。卒業生の皆さんの一層の活躍をお祈りしています。



厳かに執り行われた卒業式



卒業証書授与のようす



別れのことばに会場は涙に包まれて...



記念品贈呈 〇〇さん



厳粛な入学式会場



新入生誓いの言葉 〇〇くん



校歌 指揮 〇〇くん, 伴奏 〇〇さん

生徒会オリエンテーション



委員会を紹介する寸劇に1年生も大喜び！



よろしく先輩！ようこそ新1年生!!

入学式の翌日、4月8日(金)5校時に生徒会オリエンテーションが行われました。入学と同時に全生徒が南千住二中学生徒会の会員となります。生徒会オリエンテーションでは、生徒会活動とは何か、南千住二中学生徒会スローガンや各専門委員会の活動内容が説明されました。生徒会本部と中央委員会が企画し、委員会の説明では寸劇を交えて、楽しく紹介しました。

この会はそれと同時に、2,3年生と新1年生の「対面式」の意味もあわせもっています。2,3年生が校歌を紹介したり、入会の証に鉢植えの花が1年生にプレゼントされました。1年生を代表して〇〇さん(1-1)から上級生に会のお礼と入会の誓いのことばが述べられました。

生徒会オリエンテーションの翌月曜日には部活動説明会も行われました。1年生が楽しみにしていた部活動の説明です。各部の部長が中心に活動内容が説明され、1年生の仮入部が始まりました。

JRC登録式



登録式ではJRC精神を全員で唱和

4月12日(火)には、JRC登録式が行われました。南千住二中は、JRC(Junior Red Cross = 青少年赤十字)に全校加盟しており、地域清掃やボランティア活動などに取り組んでいます。JRC委員会や学校の特色であるレスキュー部の活動もこのJRCの活動に深く関わっています。今年も新入生を迎え、登録式を行い、生徒会本部役員の〇〇くんの宣誓に続き全校生徒がJRCの一員である自覚をもつために「誓い」を唱和しました。また、JRC委員長の〇〇くん、昨年度レスキュー部副部長の〇〇さんがそれぞれ活動報告をしました。昨年度レスキュー部はその活動が広く認められ、東京消防庁より『第12回地域の防火防災功労賞最優秀賞(消防総監賞)』を、地域のまちづくり功労賞の部門では『都知事感謝状』を、消防庁の防災まちづくり大賞部門では『日本防火防災協会会長賞』などの大きな賞を受賞しました。また、新たに登録された1年生を代表して〇〇くんが、この日の来賓・講師としてお見えになった全国青少年赤十字賛助奉仕団会長小川先生からJRCバッジを授与されました。



宣誓する〇〇くん



〇〇くんと〇〇さんから活動報告



JRCバッジを受け取る〇〇くん



教職員の紹介

新年度に伴い、教職員の異動がありました。これまで学校を支えてくださった先生・主事さん方ありがとうございました。

[転出] 数 学 横山 暢勇 先生(江戸川区立二之江中学校へ)
事務主事 宮谷 眞由美さん(目黒区立碑小学校へ)

[新転任] 数 学 富山 晃 先生(新規採用) 国語講師 佐藤 邦彰 先生
家庭 水村 英美子先生(期限付き) 数学講師 後藤 太一 先生
事務主事 新妻 輝行さん 保健体育講師 前田 智子 先生
(墨田区立外小より転任)

平成28年度教職員一覧 よろしくお願ひします。

	職名等	担任	氏名	教科
	校長		齊 藤 進	経営
	副校長		松 田 公 好	経営
1 学年	主幹教諭・1学年主任・進路指導主任	1組担任	野 口 敦 広	社会
	教諭	2組担任	末 永 佳奈子	保体
	教諭	3組担任	西 窪 秀 子	国語
	教諭	4組担任	笹 川 達 矢	数学
	主任教諭	5組担任	澤 田 真樹子	英語
	主任教諭	副担任	野 田 智 子	音楽
	教諭	副担任	長 田 利 子	理科
	養護教諭・保健給食主任	学年所属	森 下 麻 紀	養護
2 学年	主任教諭・2学年主任	1組担任	寺 岡 武	技術
	教諭	2組担任	宮 尻 しおり	社会
	主幹教諭・教務主任	3組担任	中 陳 啓 司	理科
	主任教諭・研究主任	副担任	門 脇 晃 子	数学
3 学年	教諭	副担任	富 山 晃	数学
	主幹教諭・3学年主任・生活指導主任	1組担任	飯 田 朋 子	国語
	教諭	2組担任	西 尾 洋 士	英語
	主任教諭	3組担任	宗 広 優 子	美術
	教諭	副担任	加 藤 青 覇	保体
	教諭	副担任	酒 井 和 彦	英語
	教諭	副担任	水 村 英美子	家庭
	事務主事・庶務主任		新 妻 輝 行	
	用務主事主任		福 嶋 功	
	用務主事		井 上 和歌子	
	図書館指導員		上 原 樹 代	
	非常勤養士		山 脇 路 子	
	非常勤事務嘱託員		坂 間 浩 子	
	臨時職員		金 宮 美代子	
	臨時職員		笹 岡 博 明	
	学校管理員		吉 良 瑛	
	学校管理員		三 宅 三 夫	
	非常勤講師		田 中 淳	理科
	非常勤講師		後 藤 太 一	数学
	非常勤講師		佐 藤 邦 彰	国語
	非常勤講師		櫻 井 直 子	英語
	非常勤講師		前 田 智 子	保体
	外国人指導員		ジェフ・ゴールド	英語
スクールカウンセラー		松 井 洋 子		
心理専門相談員		横 尾 晴 香		
特別支援教育支援員		堀 内 淳		
特別支援教育補助員		清 宮 隆 行		
情報教育支援員		小野寺 勝也		
他 部活動指導員、給食調理員(長谷川フードサービス)				